

GAP概論

講師名	県職員 外部講師、 1学年担任(研修受講者等)	実務経験等	(外部講師) ・農産物流通会社を営業するとともに、ASIAGAP上級指導員・GLOBALG.A.P.内部監査・検査員資格を活かし、国際水準GAPの基本や取組事例等について講義を行う。 ・農研機構 農業技術革新工学研究センター勤務経験を活かし、労働安全についての講義を担当している。 ・知的財産権に係る弁理士としての知見を活かし、農業における知的財産の保護・活用方法について講義を行う。 ・ICT企業の勤務経験を活かし、タブレットを利用した生産工程管理情報の記録や保管方法、記録を圃場で実践する等の演習を行う。 (1学年担任) ・JGAP指導員・ASIAGAP指導員の知識を活かし、食品安全、環境保全、販売管理やリスク点検等について講義を行う。
-----	-------------------------------	-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・専門科目	全学科	必修	1	通年	30	2
使用教科書・副教材	自作プリント 等					
授業の目的	国際水準GAPに関する基礎知識を習得するとともに、演習や事例研究を通して認証取得に必要な具体的な取組を学ぶ。					
授業の到達目標	GAPに関する概要及びその手法を理解できる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備考
4月22日	GAPの基本理念	GAPの基本理念を学習する。	2	講義	講師:ASIAGAP上級指導員
4月22日	GAPの意義	GAPの意義と取組事例を学習する。 (※小テスト)	2	講義	
6月9日	食品安全・衛生管理 (HACCP)	交差汚染の防止、食品安全の危害要因等について学習する (※小テスト)。	2	講義	講師:1学年担任
6月25日	環境保全	エネルギー管理、廃棄物管理、農薬使用計画(IPM含)、施肥設計、肥料の安全性について学習する(※小テスト)	2	講義	講師:1学年担任
8月27日	労働安全	ヒューマンエラーと要因、安全対策、リスクの特定、分析、評価について学習する。	2	講義	講師:農研機構
9月7日	農業における知的財産	農業における知的財産の保護・活用方法について学習する。 (※アンケート)	2	講義	講師:弁理士
9月13日	販売管理	トレーサビリティと消費者からの信頼性の確保について学習する(※小テスト)。	2	講義	講師:1学年担任
10月1日	生産現場における記録と点検手法	タブレットを使用し生産工程管理情報の記録や点検手法を学習する。	2	講義	講師:1学年担任及びICT企業
	リスク点検と検討	校内現場施設のリスク点検とその改善策をグループ討議を通じて学習する。	2	演習	
11月5日	GAPの実践状況	県内の先進経営体を訪問し現場の状況を把握するとともに、農大の問題点や改善点について学習する。 (※レポート)	8	事例研究	GAP実践経営者 1学年担任団
1月26日	GAP適合基準の構造	GAPの適合基準との構造について学習する (※小テスト)	2	講義	講師:ASIAGAP上級指導員
2月9日	GAP認証の仕組み	GAP認証の仕組みについて学習する (※小テスト)	2	講義	講師:ASIAGAP上級指導員
合計			30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

レポートの評価、出席状況、受講態度により評価する。
 評価割合:レポート(但し、小テストを含める)70%、平常点30%

履修に当たっての留意点等

授業形態は講師作成のプリント、パワーポイント、演習等で行う。